

<GAP（農業生産工程管理）について>

【調査の目的】

GAP（農業生産工程管理）とは、持続可能な農業の実践に向け、農業の生産過程で、生産者自らが出荷物への異物の混入防止や、農薬や肥料の適正な使用、農作業事故の防止などのため、チェックリストを用いて点検、評価を行うもので、食品安全、環境保全、労働安全や人権保護等を確保する取組です。この取組を第三者が認証するものとして、GAP認証※があります。

GAP認証を取得した農産物は、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会での食材の調達基準として位置付けられています。

※ GAP認証とは

GAPの取組がきちんと行われていることを、第三者機関が審査を行い証明するもので、価格や機能、デザインのような見える価値ではなく、食品安全、環境保全、労働安全のような「見えない価値」を見える化した、客観的な証明となるものです。

なお、GAPの認証は、グローバルGAPやアジアGAP、JGAPなど民間による認証制度が従来からありました。平成30年2月より、県が認証する「福岡県GAP認証制度」が始まり、生産者の状況にあった、認証制度が活用できるようになっています。

問1 あなたは、GAP（農業生産工程管理）について知っていましたか。

(N=361 選択は1つのみ)

1 知っていた	4.7%	17名
2 名前を聞いたことはあるが、内容までは知らなかった	10.8%	36名
3 知らなかった	84.5%	305名

問2 （問1で「1」又は「2」を選択された方にお尋ねします。）

どのようにして「GAP（農業生産工程管理）」をお知りになりましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

1 新聞やテレビ、雑誌、インターネット等のマスメディアの報道で知った	44.8%	26名
2 店頭での表示や農産物の包装で知った	15.5%	9名
3 農業者から聞いた	12.1%	7名
4 東京オリンピック・パラリンピック大会の食材調達基準としてGAP認証取得が要件の一つとなっていることを報道等で知った	19.0%	11名
5 その他（次の設問で具体的に記入してください）	8.6%	5名

[その他（抜粋）]

学校の授業で知った

食品加工業者に勤めていた際に知った

問3 あなたは、農産物を購入する時、何を重視しますか。

次の中から【2つだけ】選んでください。

1	食品の安全性が確保されている	28.5%	178名
2	環境に配慮して生産されている	2.9%	18名
3	価格が手ごろである	31.2%	195名
4	食味がよい	2.7%	17名
5	新鮮である	23.5%	147名
6	地元産である	7.4%	46名
7	生産者の顔が見える	2.1%	13名
8	その他	1.8%	11名

[その他（抜粋）]

- ・国産
- ・無農薬・減農薬や遺伝子組換えでないもの
- ・農薬や肥料の使用について安全性の高い物
- ・産地直送のコメントや表示を見て

問4 あなたは、GAP認証を取得した農産物を購入したいと思いますか。

次の中から【1つだけ】選んでください

1	購入したい	43.5%	258名
2	どちらかといえば購入したい	42.5%	251名
3	あまり購入しようと思わない	5.6%	33名
4	分からない	6.4%	38名
5	その他（次の設問で具体的に入力してください）	2.2%	13名

[その他（抜粋）]

- ・極端に価格が上がらなければ興味がある。
- ・価格による
- ・おいしくて安ければ購入したい。

問5 （問4で「1」又は「2」を選択された方にお尋ねします。）

新たに、県が認証する「福岡県 GAP 認証制度」が始まりました。あなたは、どのGAP認証を取得した農産物を購入しますか。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

1	歴史や実績のある民間GAP（GLOBAL GAPやJGAP）認証を受けた農産物を優先的に購入する	8.5%	23名
2	福岡県が認証する「福岡県GAP」認証農産物を優先的に購入する	39.7%	108名
3	GAP認証を取得した農産物であれば、認証の種類は問わず購入する	51.8%	141名

問6 あなたは、GAPの認知度が上がるには、県からどのような支援が有効だと思いますか。
次の中から当てはまるものを【2つだけ】選んでください。

1	消費者や販売関係者向けに、新聞やテレビ、雑誌、インターネット等のマスメディアを通じて情報発信をする	43.2%	261名
2	消費者向けに、GAP認証を取得した農産物を販売するスーパーや小売店で、GAPの取組について掲示・表示をする	42.5%	257名
3	販売関係者向けに、商談会等でGAPの取組についてPRを行う	5.6%	34名
4	販売関係者向けに、GAP認証を取得した農産物の産地に招待する産地ツアーを行い、GAPの取組を知ってもらう	6.4%	39名
5	その他（次の設問で具体的に入力してください）	2.1%	13名

[その他（抜粋）]

- ・福岡県 GAP マーク入りの商品を至る所に安価で陳列する
- ・県単位でなくせめて九州各県が一致団結して活動されることを望みます
- ・GAPについて多くの人知らないと思う。GAPの内容や意義をもっと知らせるべき
- ・前述の質問にもありましたが、スーパーで告知するのが1番。
- ・GAPについて消費者への認知のために広報を大いにすべきであり、また農業者への浸透も図り、農業者からのGAP参加を広報できるようにして、生産者、行政両方からのアピールが大事。